

# 第52回結核予防全国大会を 迎えて

鈴江襄治 すずえじょうじ  
結核予防会徳島県支部長



このたび、結核予防会総裁秋篠宮妃殿下のご臨席を賜り、徳島県におきまして、第52回結核予防全国大会を開催する運びとなりましたことは、誠に光栄であり喜びに堪えないところであります。

わが国の結核事情は、かつて多くの人々の命が奪い去られた時代には想像もできないほど大幅に改善を遂げてきました。

しかしながら、わが国の結核の現状は、年間約4万8千人の新規患者が発生し、約2千9百人もの人々が亡くなっているなど、罹患率、死亡率は先進諸国の中で最も高い水準であります。さらに平成9年を境に、これまで減少を続けてきた新規発生患者、罹患率が増加に転じ、平成11年もこの傾向が続いているので、結核が再興感染症として猛威をふるうのではないかという危惧が現実のものとなっております。まさに、21世

紀の幕開けであり、また、結核予防法施行50周年を迎えた今、結核根絶に向け本大会の果たす役割は大きいものと考えております。

本大会の第1分科会では「21世紀の結核対策への提言」をテーマに、今後の結核対策のあり方についてご討議いただき、第2分科会では「いま、この時代(とき)を」というテーマで講演、ミュージカルなどをご覧いただきたいと思っております。

最後になりましたが、大自然に恵まれ海の幸・山の幸の豊富な、また、人情味の厚い徳島県に多くの方々のご参加を心からお待ちしております。



## 目次

メッセージ	第52回結核予防全国大会を迎えて	1
	鈴江襄治	
第52回結核予防全国大会特集		
支部長会議への提言	最近の結核問題と対策の動向	
	森 亨	2
視点	第1分科会 石川信克	4
	第2分科会 中川洋一	4
秩父宮妃記念結核予防功労賞第4回受賞者		5
特集・世界結核デー	世界の結核対策の現状 須知雅史	8
ストップTB DOTS	世界戦略に日本はどう取り組むべきか	
	石川信克	12
感染症対策沖縄会議	島尾忠男	14
レポート	日本医師会市民公開講座	15
DOTS	川崎市結核対策DOT事業 多田有希	16

ずいひつ	チェンマイでのカウントダウン	佐藤篤彦	18
	今月のテーマ		
肺がん検診	さらなる飛躍を	守谷欣明	19
結核予防会における肺がん検診の精度管理		大森正子	22
胸部X線写真の精度管理		中野静男	25
	平成13年度厚生労働省予算(案)		28
	本部関連行事		14
	マスコミ資料(結核・たばこ・肺がん関係)		21・24
	予防会だより		31

[表紙写真] 大鳴門橋(鳴門市)  
鳴門市と淡路島を結ぶ長大吊り橋「大鳴門橋」は、全長1,629m、主塔高144m。この橋の下には、潮の干満により大小無数の渦が巻き、大きなものは直径20mを超える。昨年4月に完成した大鳴門橋遊歩道「渦の道」からは、ダイナミックな渦潮を間近に見ることができます。

[カット] 佐藤奈津江